

令和8年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

文化・社会学専攻
専門科目試験問題

【社会学コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答ははじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机のうえには、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 特に監督者から指示がなければ日本語で記述してください。
- 6) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 7) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和7年9月13日実施

問題 以下の問いに答えなさい。なお、解答内容はなるべく具体的に記述してください。また、解答の際に参考にした情報の情報源は、できるだけ詳細に記述してください。

問1. あなたが大学院で研究しようと考えている対象やテーマを、そのことについてあまり知識がない人にもわかるように、詳しく説明してください。

問2. あなたの研究計画について、その目的と背景をそれぞれ具体的に説明してください。

問3. 問2で述べた研究の社会的意義や研究的意義をなるべく詳細に説明してください。

問4. 問2で述べた研究の目的を達成するためにどのような方法を用いる予定ですか。その具体的な手続きを詳述するとともに、用いる方法の利点と課題、注意すべき点、期待される成果について、それぞれ説明してください。

【出題意図】

問1は、受験生が大学院で研究を行おうとする対象やテーマについて、どれだけの知識や情報を得ているのか、そして、それを文章で説明する力がどの程度あるかをはかる意図で出題した。問2は、受験生が大学院で行おうとする研究の目的と、それを設定した背景について、どの程度論理的に記述できるかをはかる意図で出題した。問3は、問2で述べた背景に関して、社会的な意義や研究的な意義を、詳細に記述することを求めている。これにより、社会的意義や研究的意義について、どの程度の知識や情報を収集し、それを元にどのように思考し、文章で表現できるかをはかる意図で出題した。問4は、受験生が大学院で研究を行うにあたって、どのような方法と手続きを構想しているのか、そして、その結果として具体的にどういった知見を得ようとしているのかをはかる意図で出題した。これによって、受験生が自身の研究計画を、結果を見据えてどの程度具体的に構想できているのか、方法論についてどこまで子細に検討できているかが明らかにできる。